

**製品名: デマチン (リン酸化 Ser403) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab04546**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	55kDa

**抗原情報**

遺伝子名	EPB49
別名	EPB49; DMT; Dematin; Erythrocyte membrane protein band 4.9
遺伝子 ID	2039.0
SwissProt ID	Q08495
免疫原	抗血清は、Ser403 のリン酸化部位周辺のヒトデマチン由来の合成ペプチドに対して産生された。 アミノ酸範囲: 356-405

**背景**

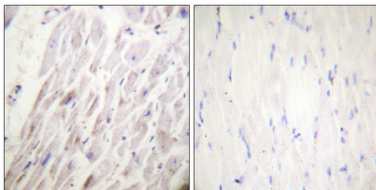
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、アクチン結合・束形成タンパク質であり、赤血球において構造的役割を果たし、リ

ン酸化依存的にスペクトリン / アクチン細胞骨格を赤血球膜に安定化・付着させる。このタンパク質は、N末端にコアドメイン、C末端にF-アクチンに結合するヘッドピースドメインを有する。赤血球から精製すると、このタンパク質は2つの48 kDa ポリペプチドと1つの52 kDa ポリペプチドからなる三量体として存在する。これらの異なるサブユニットは、ヘッドピースドメインが存在する3'コード領域における選択的スプライシングによって生じる。この遺伝子の破壊は常染色体優性遺伝性のマリー・ウンナ遺伝性貧毛症と相関関係にあるとされており、一方、この遺伝子のヘテロ接合性の消失は前立腺癌の進行に関与していると考えられている。選択的スプライシングにより、以下のタンパク質をコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。ジドメイン: 大きなコアフラグメント (アミノ末端部分) と小さなヘッドピース (C末端部分) で構成されます。ヘッドピースはアクチンフィラメントに結合できますが、束ねることはできません。ドメイン: 少なくとも2つのアクチン結合部位 (ヘッドピースドメインに1つ、アミノ末端部分に1つ) が含まれます。機能: アクチン束ねタンパク質。マイトジェン活性化プロテインキナーゼ経路で機能する可能性があります。PTM: アクチン束ね活性は、cAMP 依存性プロテインキナーゼによるリン酸化によって消失します。PTM: N末端はブロックされています。類似性: ビリン/ゲルゾリンファミリーに属します。類似性: 1つのHP (ヘッドピース) ドメインが含まれます。サブユニット: 溶液中では、ジスルフィド結合で連結された2つの短いアイソフォームと1つの長いアイソフォームの三量体として存在します (おそれなく)。RASGRF2と相互作用します。組織特異性: 心臓、脳、肺、骨格筋、腎臓。

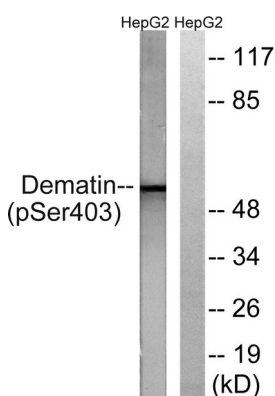
## 研究分野

-

## 画像データ



デマチン (リン酸化 Ser403) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト心臓の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



インスリン 0.01U/ml を 15 分間処理した HepG2 細胞のライセートを、デマチン (リン酸化 Ser403) 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。